

編集後記

本号では、前回に引き続き、平成 15 年度から新高等学校学習指導要領に基づく教育課程が学年進行で実施されることを踏まえ、特集「新学習指導要領と大学入試について」と題して、新高等学校学習指導要領の解説や高等学校カリキュラムの編成などを掲載しています。また、事例紹介では、昨年度から開始された大学入試センター試験の前年度成績利用や国立大学が現在進めている大学の統合・再編に伴う入試業務に関する諸問題、さらに、平成 16 年度大学入学者選抜から大学入試センター試験の利用が可能となる短期大学の諸課題などについて取り上げました。最近の大学入試をめぐる現状や諸課題などが、高等学校や大学におけるご検討の一助になればと考えております。

なお、従来に引き続き、海外の入試改善に関する研究内容をまとめた海外トピックス(海外調査関係)、試験問題の作成に携わった先生方に御執筆いただいた出題ノート、当センター研究開発部教官による研究紀要論文抄録等を掲載しております。

少子化の進行や大学進学率の上昇、さらには、学生の学力低下に対する危惧のなか、大学入試を取り巻く状況は、これまで以上にその見直しや変革が求められています。また、高等学校においても、新しい学習指導要領への対応という、待ったなしの作業が進められております。

本号が、各大学における入学者選抜方法の改善や各高等学校における進路指導等を行うに当たり参考になれば幸いです。

最後になりましたが、本号の発刊に際し、お忙しい中、御執筆いただきました先生方に心から御礼を申し上げます。